

日程第２．一 般 質 問

○議長（倉又 稔君）

日程第２、一般質問を行います。

発言通告者は１４人ですが、議事の都合により本日５人、７日５人、８日４人を予定しております。

一般質問の質問時間は、答弁を除き１人３０分であります。

所定の時間内に終わるよう質問・答弁とも簡潔に、要領よくお願いいたします。

また、質問は通告の範囲内にとどめるようにご協力をお願いします。

それでは通告順に発言を許します。

笠原幸江議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。〔２番 笠原幸江君登壇〕

○２番（笠原幸江君）

おはようございます。

創生クラブ、笠原幸江です。

事前に提出いたしました発言通告書に基づき、一般質問をさせていただきます。

１、市民会館の現状と今後について。

新しくスタートした市民会館に市民は期待と想いを募らせ、大きな舞台に立てる喜びと感動を刻むために、日ごろからそれぞれの分野で研さんを積み努力しております。その成果を心待ちにしている人たちのために準備を重ね、万全を整え本番を迎えています。

市民会館は、地域に愛されてこそ地域の活性化が持続し、歴史をつなげていくものと捉えております。市民会館は、糸魚川駅アルプス口近く、立地条件としても他市に比べて類を見ない環境にあるからこそ、市民の期待は当然ではないでしょうか。

現在、市民会館の職員体制は、職員２名、臨時職員１名、舞台関係・音響・照明は外部委託としている直営方式で運営されていますが、私は市民会館を利用した立場から、市民会館の運営に不安と憤りを感じています。

平成２７年３月定例会において質問したおり、答弁の中に平成２７年度は指定管理の内容を協議し、費用対効果、サービス面を含め有用であれば、平成２８年度には議会に上げる段取りとし、平成２８年度中に条例改正、公募、議会の議決のスケジュールと述べられています。

それらを踏まえ、その後の経過と市民会館の体制を、以下の項目についてお伺いいたします。

- (１) 基本理念、事業ミッションと行動指針などについて。
- (２) 職員体制と外部委託、舞台運営、安全管理について。
- (３) 委託事業者から出されているアンケート調査票について。
- (４) 指定管理者制度を導入した場合の利用料金について。
- (５) 今後の方向性について。

以上、1 回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

竹田教育長。〔教育長 竹田正光登壇〕

○教育長（竹田正光君）

おはようございます。

笠原議員のご質問にお答えいたします。

1 点目につきましては基本理念、事業ミッションとして市民会館条例に規定されているとおり、市民の生活の向上と文化の発展に寄与することを目指しております。行動指針につきましては、規定したものではありませんが、利用される方にも観覧される方にも満足いただけるよう、職員が努めることと考えております。

2 点目につきましては、一般職員 2 名、兼務職員 1 名、臨時職員 1 名となっております。また、外部委託につきましては、安全管理を含め舞台業務の運営・管理・技術などについて市内業者に委託しております。

3 点目につきましては、委託業者が施設の利便性とサービス向上のため、リニューアル後から開始したのですが、アンケートの実施方法や内容の見直しを行うとともに、利用者との情報共有をさらに強化するよう努めております。

4 点目につきましては、指定管理者制度の導入により、直ちに利用料金に変更が生ずるものではありません。

5 点目につきましては、現在、今後の管理運営方針について検討しており、リニューアル後の利用状況の推移などを見きわめながら、さらに検討する必要があると考えております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願い申し上げます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2 番（笠原幸江君）

2 回目の質問に入らせていただきます。

課長によく聞いていただきたいんですが、私、これから読み上げます。

ただいま、電話に出ることができません。恐れ入りますが、改めてお電話をいただけますようお願いいたします。

この文言は、当市民会館の休館日の対応です。お聞きになっていかが思いますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

おはようございます。

お答えいたします。

休館日の対応の留守番電話の回答としましては、不適切な部分があるかと考えられますので、見直しを進めていきたいと、今、聞いて考えておるところであります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

これは、11月30日に私が市民会館にお電話を入れて、確認したものでございます。それ以前からも確認してたんですが、見直ししていただくということなので、私がこれから読み上げますので、そのようにしていただけるかどうか、確認してください。

こちらは市民会館です。本日は休館日です、大変申しわけございません。あす、8時30分から受け付けいたしておりますので、おかけ直してください。お電話ありがとうございました。

いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

今、議員からご提言のありました文章を参考にしまして内容について検討し、該当の留守番電話の発信の仕方について、館長などと話し合いをして決めていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

訂正のほうを、今からすぐ、直していただきたいと思っております。

それでは、1番の基本理念、事業ミッションと行動指針について、先ほど教育長のほうからお話お聞きしたんですが、もう少し具体的に、市民に対してどういうふうな基本理念でやられているか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

お答えいたします。

公立の文化会館につきましては、博物館法のように根拠法令がございまして、特に定義がないというのが現状でありまして、各館が地域の実情に合った、地域の実情などを踏まえて独自に活動しております。

したがって、当系魚川市民会館としましては、条例の設置目的にありますとおりやりますけれども、会館の事業ミッション、使命や存在意義という点につきましては、条例の設置目的に加えまして、市民ニーズに対応したすぐれた芸術文化、鑑賞の機会の提供ですとか地域文化の振興、あ

るいは人材育成の場として市民との協働によります文化、芸術文化の創作あるいは情報発信など、地域活性化に努めてまいりたいということであろうかと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

当会館の基本となるものです。条例に基づいた、それに基づいた中で、市民会館としての基本理念をしっかりとうたわないと、ただそこから、条例から文言を持ってくるのではなく、しっかりと基本理念を明記してもらいたいんです。分類して表記しないと、その仕事の視点をどこに置くのかということで具体的に持っていけないと、市民会館に勤務された方たちも、それを基本にして動かないといけない。

私は、全ての仕事の視点をお客様、市民に置きかえ、文化事業を表記され、活用していただきたいんです。そここのところを、もう一度お願いしたい。全てのお客様です、全てのお客様に対しての心構えを、ここでしっかりうたわないとはっきりしてこないで、いかがでしょうか、そこを明記していただきたい。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

やはり、あくまでも市民会館条例の設置目的に沿いました職員の行動指針なり、事業ミッションであるというふうに考えますので、そのほかにといいますか、しっかりお客様目線で考えてという部分に関しては、市民会館の職員としての心得といいますか、そういった面で検討してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

課長、検討するんじゃないんですよ。しっかりとやっていただかないと、私がこれから随時質問をしていくことに大きな影響を及ぼすということで、しっかりお聞きしたいということで聞いてます。

それでは、行動指針と職員の心得というのは、きっかりと明確に表記されているものなんですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

教育長の答弁でもお答えしたとおり、明文化してはっきりお示しをしているものは、今は存在し

ておりません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

明文化していないということであれば、今後、明文化していただきたい。行動指針、それから職員の心得、これが基本にならないと、今、直営方式でやってる受託者に対して、市民会館の姿勢が明確になってきておりません。だから、しっかりとやっていただきたい。

例えば、公平・公正な立場を堅持し平等な利用を促進するとか、万が一に備え、常に危機意識を持って臨む、わかりやすい表示案内及び対応・言葉遣いで接する、快適で気持ちのよいサービスをお届けするなどなど、まだまだたくさんあります。

好感の持てる人柄のよい職員集団として誠実に行動するなど、しっかりとそこを明文化していただきたい。何事にも親切丁寧に誠意を持って迅速に対応する、こういう文言などを、しっかり行動指針あるいは職員の心得の中に入れていただきたいんですけど、今すぐ返事をしなさいと言っても、多分、検討しますということなんだと思いますので、私が今ここでお話ししたことを、しっかりと踏まえて、早急にやっていただきたいと思っております。

もう一度、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

ご提言をありがたく受けとめまして検討をし、職員の行動マニュアル等を整備の中で、そのようなことも盛り込んでいければというふうに、今、考えているところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

それでは次に、事業ミッションについてお伺いします。

この事業ミッションについては、今どのような計画、スケジュール表とか、今年度はどういうふうにやっていこうとか、それからさまざまな事業に対応、多様化する市民ニーズに対応して、市民会館としてどのような対応をしていくかということとはしっかりと、本来であれば、これは平成26年度につくって27年度に実行しなきゃいけないんですけども、それは計画的なものは入っておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

お答えいたします。

事業ミッションという形で定めておるものはございません。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

それらのことを踏まえて市民会館の運営を。

私にはとても不思議でしょうがないです。行動指針だの職員の心得が基本理念に、条例に基づいたものはありますけれども、しっかりしたものがなくて、今度、職員の心得だとかそういうしっかりマニュアル化したものもなく、次は今度、計画性のもも持ち合わせてないということは、どうやって事業を運営していらっしゃるんでしょうか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

職員の行動指針といいますかそういったものは、今のところ、不祥事防止のための行動指針というのが定められたものがございますほか、職員の接遇マニュアルというものが定められております。それらに沿って、職員全体、市民会館の職員だけではありませんけれども、そのマニュアルによりまして営業をしているところであります。事業それぞれの事業実施に当たりましては、それぞれ性質も違うことから、それぞれの事業で職員が実施に向けて進めているというところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

例えば、多様化する市民ニーズに対応するために、質の高い事業を幅広い年齢層に多彩なジャンルでバランスよく行い、すぐれた芸術文化作品の鑑賞機会を提供するとか、あるいは芸術文化の創造の場であるとか、人材育成・市民参加・市民との協働による密着した作品を創作したり、あるいは参加した出演者・スタッフ・観客の郷土愛を育むとか、芸術文化を育むとか、そういうものをしてしっかりうたっていないと、何をしたいかわかんないような文化会館であれば、市民会館であれば、目的が全く見えません。そういうことをうたって、行事あるいは貸館だったりとか、事業計画だとかそういうようなものを踏まえていかなきゃいけないのに、何もないというのは少しおかしいんじゃないですか。早速、そのところは改善する必要があると思いますがいかがですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

お答えいたします。

今、議員がおっしゃられる面につきましては、総合計画あるいは総合計画の後期基本計画にうた

われている部分であろうかと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

課長、違うんですよ。市民会館というのは、もちろん今、市が直営でやってるから総合計画から離れてはいけないと思うんだけど、しっかりと会館の姿勢をどういうふうに運営していこうかというための、会館独自のマニュアルあるいは基本理念、あるいはことしはこうということで例えば、先日、糸魚川タイムスさんに、市長が出雲へお出かけになりました。とても素晴らしいことで、これで、越の国糸魚川あるいは出雲、それから諏訪のこの3つが結びついたのと、古事記にも載っている奴奈川姫がご縁で行かれました。

私は、そういうすごいことをやってくださってるなということを感じて、この新聞を読ませていただいたんですが、例えばそういう、糸魚川にそういうつくられた文化でなくて、昔からある古事記に載っておった文化もあります。それらを利用して、平成20年度に歌劇奴奈川姫を上演されました。本当に素晴らしいもので、今も脈々と根づいております。市民参加です。そういうものをまた企画したり、立案したりさまざまなことを市民会館の枠の中でやっていくという、そういうビジョンとかそういうものがないままに、ただ総合計画の中でやってますと、それはいいませんわ。いけないですよ。

私、市長にお伺いしたいんですが、そのときの出雲へ行かれたときの感触というのはいかがでしたでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

奴奈川姫を核とした、やはり交流というのは大切と捉えていたわけであります。そういう中において、川崎日香湊さんという日本画家を介して、諏訪大社または出雲大社と非常に強く縁が結びつくようになったことから、諏訪市または出雲市の市長さんをお願いをいたしまして、その辺の交流をしていくのはいかがでしょうというような呼びかけをさせていただく中で、今の段階におきましてはある程度の感触を得ておる状況であります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

今後ずっと、つながっていただきたい事案が、本当に3つの市が1つにまとまった瞬間だと思っております。今、市長も、これからも交流を続けていきたいというお話をしました。長い歴史の中に、これはいい、本当に素晴らしいことだと思っております。

多分、課長も同席してると思いますが、そういうことをこの市民会館の中で、職員が企画・立案、

+

市民のために、市民参画あるいは芸術文化の創造の場として文化会館が、さまざまなジャンルの人々と協働の基本となるものをしながらまちづくりをしていくという、そういうもの、基本のものが、今までお聞きした中でつくってないと言うから、これ以上やっててもぴんと来ない。私はそういうものが、糸魚川市の文化会館で展開していただきたいなということでお願いしました。

それでは、2番の職員体制と外部委託についてのほうにまいります。

基本理念あるいは事業ミッションと行動計画を進めていく上で、現在の職員体制で、職員2名と臨時職員1名で間に合ってると思ってますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

お答えいたします。

一般職員2名という職員体制ではあるんですけども、行財政改革を進める中で、市全体としては、さまざまな考慮がなされた結果としての職員配置であるというふうに受けとめております。文化振興課及び市民会館といたしましては、限りある予算・人員体制でできる限りの対応をしているところであります、ご理解をお願いしたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

私は担当に無理だと思っております、今の職員体制では。

例として10月24日、当市民会館で演能山姥が上演されました。私も行ってきました。来場された方はおおむね350人ということだったんですが、高校生以下を無料にされております。

市民会館の職員の方は、これに対して営業努力をなさいましたか。高校生以下を無料にした以上は、中学生も含めて、あんなにすばらしい、またとない機会の山姥の上演を、お姿がなかったんですよ。多分、市民会館で上演されるということは、高校生以下の子供たちをたくさん入れようということではなかったのかと私は思ってるんです、勝手に。だけど、そのために職員総動員で、高校生以下の子供たちを営業して歩きましたか、無料です。いかがですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

お答えいたします。

高校生以下無料という部分は、ポスターやチラシなどでお知らせをしていたところですが、それだけでは弱いということで、直接文書とチケット取りまとめもやりますよということで、会館のほうから発送しておりますし、市内の小中学校においても校長会を通じまして、ぜひ、なかなかめったに見られることのできない演能をごらんいただきたいということで、働きかけをしてきたところではありますが、当日、学校のさまざまな行事あるいはイベントの多い時期ですので、ご来場いただ

けなかったというところが現状でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

甘いです。上演するという日が決まったのは、きのう、あすで決まったわけじゃないでしょう。何カ月も前から、高校生を無料にすることを決めた以上は、行事があった、文書を配布した、校長会で説明した、そんなばかな話ありますか。上演する方たち、それからこれは、当市10周年記念の記念事業でした。そんなことで、甘いんですよ。そんなの言いわけです。そんな、急に上演するわけじゃないじゃないですか。すばらしい人たちが来て、いきなりやるというわけじゃないでしょう。その日に行事があるうが何しようが、外すとかいろいろ方法があったはずですよ。何でそれを、ただ言いわけにしか聞こえないんですよけどいかがですか。本当に営業されたんですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

お声がけはしたところですが、それが十分であったかということにつきましては、取り組みが少し甘い面があったのかというふうに反省をしているところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

市長は、10周年記念ということでご挨拶されました。私、それを聞いてて、本当にせつなかったです。高校生以下がないんですよ。何のために高校生以下、学校の教材の中にも音楽の授業の中にも載ってるんですよ。すごく迫力がありました。気品もありました。私も、上越まで見に行ったことはありますけれども、この人生の中で3回ほど。でも、山姥という題で身近に感じられたんですよ。そういうものを何で生で。高校生行きました、お願いに行きました、それで終わってるんですが、本当にやる気がない、だから職員体制2名で大丈夫ですかと。大丈夫じゃないですよ。中が大忙しですよ、無理です。反省だったら、誰だってできますよ。でも、実行委員会を募って上演しようとしたときには、事業を行うときはもう必死ですよ、皆さん。もう一度聞かせてください。今後、こういうことがないようにしていただきたいんですよけどいかがですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

お答えいたします。

特に、生徒児童に見ていただきたい事業につきましては、今回のことを踏まえまして、より取り組みについてしっかりと当たってまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

それでは、外部委託。2の中に入れてあります舞台運営、安全管理。

一般的に、市民会館ときららホールの利用状況が重なった場合に対応する舞台技術者は、大体、何名で対応できるのか。きらは例えば何名、市民会館は何名、どういうふうになってますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

お答えいたします。

事業が、市民会館と青海総合文化会館で重なったような場合ですと、事業の規模あるいは運営のやり方にもよりますけれども、おおむね3名ずつで割り振りをして行っているところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

私、契約書という中の資料を見てるんですけども、皆さんが受託者と契約を結んだ中に、補助技術者という方は、この3名3名のときには、何名その補助技術者が入ってらっしゃるんですか。いわゆる、きららに何名、糸魚川市民会館に何名。聞かせてください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

補助技術者は事業の実施に当たりまして、人員が不足すると想定される場合に配置をされるものでありまして、通常は1名が日常的な舞台運営・管理や備品整理などに当たっております。ですので、補助技術者は常に会館に常駐しているというわけではございませんで、事業の際に市民会館あるいは青海総合文化会館で業務を行うという内容になっております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

そうすると、常駐者が1名で、あとの5名は皆さんが契約書に書いてある補助技術者。この補助技術者というのは、舞台・ステージあらゆる分野に精通している方なんでしょうか、全く知らない方なんでしょうか、どちらでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

お答えいたします。

当然のことながら、舞台に照明・音響等の資格を持っている者もおりますし、経験がある者が補助技術者として当たっておるところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

本当に補助技術者と認めて、舞台に精通している人というふうに理解してよろしいんですか。

実は、私、10月4日に市民会館の事業が、それに少しかかわることができました。その補助技術者という方が、舞台を台なしにしてくださいました。それでも、補助技術者と呼べるんでしょうか、お答えください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

ご迷惑をおかけしたことにしましては、心より申しわけなくおわびを申し上げるところであります。かかることがないように、十分に受託業者と調整をしたいと思っております。

補助技術者といいましても、あくまでも補助ということもありますが、それなりの知識・経験もある者が当たっているところですが、やはり研修の不足ですとか、対応に当たっては不手際があるうかと思いますが、今後もしっかり指導・指示をしてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

舞台に対して、ステージに対しての姿勢ですね、それが全くないんですよ。もう、具体的にどうということかというのは、私、市民会館の館長にもお話ししました。多分、課長のところにも届いていると思います。

舞台の姿勢はこういうことなんです。出演者、スタッフ、これはもちろん音響・照明です。お客様がそこに加わるんです。この3つが、三位一体となり、ステージをつくり上げていくんです。つくり上げるものなんです。全くセンスのない人が加わって、私は僕はこれです、いやこれはできません。これでは、ステージがつくり上げていかれないんです。一緒のステージにその日を共有するんですよ。共有して、緊張感もあります、疲れます。でも、それをするによって成功させる、その喜びを味わうのが、たとえ補助技術者であっても、しっかり共有しなきゃいけないんですよ。それになってないじゃないですか。謝られても困るんですよ。いまだに実行委員長宛てに、謝罪の挨拶も来ておりません、きょう現在で。それで、補助技術者と呼べるんでしょうか。当日、常勤者はどちらのほうへ常勤していらっしゃいましたか、10月4日。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

お答えいたします。

当日、常勤している職員は、青海総合文化会館のほうの事業に当たっております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

市民会館で行われたのは、プロの出演者。照明も音響もプロです。そういうときに、何できららに行かなきゃいけないんですか。市民会館にいなきゃいけないんですよ、常勤者、常駐者は。じゃあ、補助技術者だけで市民会館が回されたということにならないですか。社会常識です。社会常識で、プロの出演者、プロの音響・照明が入った場合は、常駐者が市民会館に入らなきゃいけないんですよ。きららのほうもプロの人たちの事業でしたか、確認させてください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

お答えいたします。

青海総合文化会館のほうの事業は、市民による申し込み、合唱のイベントがあったというふうに聞いております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

だから、社会常識がなってないんですよ。2度と来ない、皆さんに、お客様に喜んでもらうために一生懸命やられて、それで舞台がだめになった、それで申しわけございませんで済まないんです、こういう社会は。そこを認識していただきたい。

それと、安全管理について伺いますが、この仕様書の中にも受託者が安全管理の点検をすることになってます。この中に、火災発生時の際は、消火器で初期消火及び出演者・観客などの避難誘導を行うと書いてあるんですが、これはどういうふうに捉えればいいんですか。ちょっと確認させてください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

お答えいたします。

火災発生時の対応につきましては、やはり職員、一般、市民会館職員がメインで動くわけでございますので、業者とともに避難誘導等に当たるといふようなことではないかというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

違います。それは間違ってます。実際に事業に入ってる最中に、これができたら動けるわけじゃないですか。お客様の誘導なんかできませんよ。

これはどういうことかという、そこに事業があった場合、具体的にいえばドアは6つありますよ、市民会館。さらには4つあります。そこに配置される実行委員会だったり、民間の人たちがつく。そのときに、どういうふうにして逃げてくださいということを指導するんです、指導するのに書いてあるんです。だから、当日の10月4日も、6人ドアに配置したんですけども、その人たちに対して安全上の注意事項とか、そういうことの説明がなかったんです。やらなきゃいけないです。

今後、そういう施設をつくってる人たちにしっかりと、万が一のときには指示を出しますから、どういうふうに逃げて、どういうふうにしてお客様を誘導してくださいという指導をしなければいけないんです。今後、やっていただけますか。自分がみずからやってる最中に、お客様を誘導できません。そういうことなんです、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

そのような事業の場合には、やはり職員、市民会館の職員を中心としまして、スタッフ一同で共通認識を深めるよう打ち合わせをして、しっかりと非常時の際の対応についても、協議は必要かというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

3番目の委託事業者から出てるアンケート調査について、お伺いいたします。

なぜ、受託事業者がアンケートを直接、事業をやられた人たちにお渡しする、その流れというのはどうなってるんですか。市民会館が中心にやらなきゃいけないのに、受託された人が直接、アンケートを集めてるんです。封書で届くようになってる。これは、どういうことなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

アンケートの件につきましては、議員からご指摘があった直後に、受託事業者と協議をしているところであります。業者といたしましてはサービス向上のため、リニューアル後から回収をしたわけですが、アンケートの出し方、あるいは回収方法については、問題があるというふうに考えておりますので、不適切な部分については改善してまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

会館が運営者です。会館運営者が行う仕事を、第三者に情報収集を委ねて、肩がわりさせてよいのか。情報はみんな、第三者のほうへ行ってしまう。プライバシーにもかかわってきます。それらのことを承知して、このようなことを日常的にやられてたのを、先ほど、教育長のお話ではリニューアル後だとおっしゃいました。何件ぐらい、このアンケート調査を出してるんですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

リニューアル後の6月末から始めております。これまでに9件お願いして、8件返信がございました。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

私がこの場でお話しすると、9件のうちの8件は回収になったけど、あとの1件は出てないというのは、私ら団体が出さなかったからです。とても出せるような状態ではなかったんです。この中に、つらつらとたくさん記述することによって、情報が全部そちらの受託者のほうに流れていきます。プライバシーの侵害、個人情報漏えいにもかかわる。そのアンケート8件をとった中で、どのようにして会館と整理していらっしゃるんでしょうか。情報交換をしてらっしゃるんですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

お答えいたします。

定期的に、受託業者と打ち合わせを開催しておりますので、その中で情報共有をしております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

今のようなやり方をずっと続けていくのは、私は不安ではございません。逆にしていただき

たい。第三者の都合の悪い点など、幾らでも改ざんできます。今の状態では、行政としてあるべき姿ではありません。受託者の名前で出すことは、一切、今後やめていただけますか。責任持って、市民会館が出すようにしていただけますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

お答えいたします。

今後も、そのようなアンケートを続けていくかどうかということも含めまして、協議を進めているところであります。利用者団体の方から、このような文書には書きづらい部分というものがありますので、そのような方から直接ご意見を伺って、今後の運営に反映していきたいというふうに考えております。今後は、事業者名でアンケートをお願いするというようなことは、こちらとしても違う方法で、館長名でやるよう考えているところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

そうですね。プライバシー保護、漏えい防止が守られる、これが行政がやらなきゃいけない仕事を、委託事業者に任せているのは全国どこを探してもありません、糸魚川市だけです。それから受託事業者、この事業者の社長さんは誰ですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

お答えいたします。

株式会社糸魚川二幸の社長は、二幸産業株式会社の会長であります小林保廣さんであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

このような事態をお聞きすれば、社長さん泣きますよ。せつながりますよ。この会社はお客様第一主義なんです。とってもお客様を大事にする会社なんです。立派な方です。それなのに、当市がこのようなことをやってたら泣きますよ。舞台はだめにする、アンケート調査は出す、あげくの果てはいまだに謝罪に伺ってません。この責任は誰がとるんですか。私は会館だと思んですけど。館長が、謝りに歩くべきなんですがいかがですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

- 教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

お答えいたします。

実行委員会の委員長さんには私のほうから、ある会合でお会いした際に謝罪をさせていただきました。公式か非公式かということになりますと、ちょっと判断がつきかねるところでありますけれども、館長がおわびに回るべきという点は、今後どのように対応するかも含めまして、しっかりと協議・検討していきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

- 議長（倉又 稔君）

笠原議員。

- 2番（笠原幸江君）

非公式の場だって、お酒の席じゃないですか。そんな謝罪の部類に入らない。館長がしっかりと、これは館長の仕事なんですよ。館長がしっかりと、くしくも2カ月前のきょうです。そのそういう責任をしっかりとやっていただきたい。私が当初から申し上げてるように、本当に社長さん、泣きますよ。社員教育をしっかりとやってらっしゃる方です。すばらしい方です。こんなお話聞いたら、本当に泣きますよ。しっかりと会館が、あるいは行政が対応していただかないといけないんじゃないんですか。改めて、もう一度聞かせてください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

- 議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

- 教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

今回の件を貴重な教訓と受けとめまして、しっかりと進めてまいりたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

- 議長（倉又 稔君）

笠原議員。

- 2番（笠原幸江君）

4番目の指定管理者制度を導入した場合の利用料金について伺います。

これは、多分、指定管理者制度を検討しているときには、これがある程度大きなネックになるのではないかと考えて、私が質問させてもらいました。

いわゆる利用料金、基本料金ですね。きららホールと市民会館、あるいは減免措置を行っている1年間、大体どれぐらい減免措置をされているか聞かせてください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

- 議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

- 教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

お答えいたします。

平成26年度、25年度ともリニューアル中ということもございまして、平年よりは少なくなっておりますので、平成24年度の数字で申し上げますと、減免額の合計ではおよそ950万円減免しております。そのうち、市あるいは教育委員会、学校というのが主体の事業がありますので、そ

れらは830万円ほど。残りの減免している団体の部分、市民団体等につきましては120万円ほどになっております。平成23年度につきましても、おおむねその120万円が100万円程度でありまして、平成27年度は途中でありますけれども、これも同様に100万円程度という数字になっております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

例えば、一番多く使っていらっしゃるのは文化協会の会員さんたちですね。半額ということで、ホールを借りても、1日9時から22時まで使っても7万4,000円が半額だったり、いわゆる減免されている。

これは、例えば指定管理者制度に導入した場合は、しっかりと市が補てんしていただけるものなんでしょうか。そこまで、検討してらっしゃるのか。先ほど、私、冒頭で申し上げましたが、スケジュール的には平成28年度中に条例改正、公募とかというふうにお話しして、検討してる検討してるだったんですが、そこも酌んだ話でしてらっしゃるか、ちょっと聞かせてください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

その減免の部分をごどのように、指定管理の算定に含めるかという部分につきましても、検討はしております。ちなみに他市の事例においてもほとんどの場合、その減免分を見ているという事例がございますので、そのあたりも含めまして、情報収集・検証を十分に行って検討してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

その中に、文化活動支援事業費というのがあるんですけども、これらも市民が大いに活用して喜んでいただける、あるいは研さんを積む、そういうもののの中に指定管理者制度の導入に当たり、文化活動支援事業費も踏まえていただきたいんですけど、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

ご意見を、検討の資料とさせていただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○ 2 番（笠原幸江君）

5 番目の今後の方向性についてに入らせていただきますが、いかがですか、進捗状況はこの文言のとおりに進んでおりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○ 議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○ 教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

平成 27 年度中に指定管理を含めた、管理・運営方法について、決定をしたいということで進めてまいっております。市の指定管理者制度の運用ガイドライン等をもとにしまして、今、検討を進めているところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○ 議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○ 2 番（笠原幸江君）

よくわからない。検討を進めているということなんだけど。

ということは、平成 28 年度にこれらのことが、粛々と進んでいくというふうに捉えてよろしいですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○ 議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○ 教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

お答えいたします。

今年度中に、指定管理に向けて進むということが決定されれば、平成 28 年度は、先ほど議員の質問書にもありますとおり、平成 28 年度中の作業に沿って進めていくということでございます。

申しわけありません。今、平成 27 年度中の検討を進めているという最中でございますので、平成 28 年度にそのように進められるかどうかも含めまして、現在、慎重に検討を進めているところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○ 議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○ 2 番（笠原幸江君）

平成 27 年度に話をしているということなんだけど、もうないんですよ、3 カ月。それで内容が見えないというのはどういうこと、やらないということなんですか、やるということなんですか。まだ検討してるけど、わからないということなんですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○ 議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

○ 総務部長（金子裕彦君）

お答えいたします。

市民会館の指定管理者制度の導入については、去年の段階では、笠原議員が質問の中でおっしゃられたような状況で考えておりますけれども、その後、今年度リニューアル後、非常に入館者の推移がふえているというような状況も踏まえながら、現在、情報収集をしてほかの指定管理を導入している施設ではどのような状況かということも含めて、情報収集している状況であります。それらを勘案する中では、現時点ではまだ、いつから指定管理を導入できるかということについては、まだ結論に至っておりません。引き続き、もう少し状況を見ながら検討を進めていかなければならないという段階でありますので、平成28年度についても、まだ検討を進めていく状況下にあると思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

そのときはじゃあ、私が平成27年の3月っていうか、まだ1年もたってないんですけれども、お聞きしたときには、はっきりしなかったことを発言してしまったというふうに捉えていいんですね。

それで、一応またそうであれば、このまま行くのであれば、直営方式でしばらく行って、その中で検討するのであれば、現在の2名体制をふやしていただいけませんか。2名増にしていいただけませんか、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

○総務部長（金子裕彦君）

お答えいたします。

市民会館については、平成28年度も直営というような状況になってこようかと思っております。

職員体制の増員についてでございますけれども、それぞれ催しの中身に応じて、職員の応援体制であったり、あるいは状況に応じて市民の皆様からご協力をいただく、そういうようなものも含めて、現在の業者委託の中で対応していきたいと思っております。職員の配置については、全体の職員管理の中で、今、笠原議員からいただきました意見を参考としながら、考えてまいりたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

であれば、職員を2名増員できないのであれば、実績のある指定管理者業者に委託するとか、あるいは舞台関係を外部委託している音響・照明、1名じゃなくて、もう1名ふやしていただいけませんでしょうか。補助技術者じゃなくて常駐者を1名ふやしていただいけませんか、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

それは、予算面での対応が当然に必要になってまいりますので、慎重に進めてまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

このままの体制を、ビジョンもなく、職員の行動指針もなくやっていけば、当会館は滅びていくだけです。最後に、市長の決断をお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

今、お答えさせていただいたように、笠原議員のご提案のものとかそういうものも勘案する中で、それも含めて検討させていただきたいと思っております。創意工夫の中で、今、ご指摘いただいたようなことが起きないように、どうしていけばいいのかというのを先に検討しながら、職員に対してはどうあるべきかということも含めて、検討させていただきたいと思ひますし、また、今ほどお答えさせていただいたように、非常にリニューアルしてから市民の方々の利用する機会がふえておるわけございまして、そういうことを考えたときに、指定管理者制度は本当に導入できるのかというのも考えていかなくちゃいけないことであろうかと思っておりますので、その辺もしっかり一緒に検討させていただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

ありがとうございました。私の一般質問を終わります。

○議長（倉又 稔君）

以上で、笠原議員の質問が終わりました。

次に、松尾徹郎議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

松尾議員。〔18番 松尾徹郎君登壇〕

○18番（松尾徹郎君）

おはようございます。

行政改革と現状の行政課題について一般質問いたします。